



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

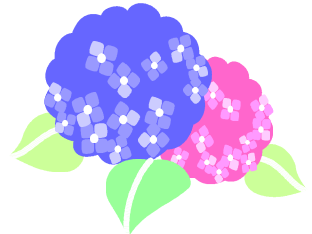
創立 明治5年
1872年

令和2年(2020年)6月19日

発行責任者 校長 岩下清彦

学校生活も徐々に軌道に

感染防止のための「新しい学校生活習慣」も定着



登校時の南玄関での健康チェック

紫陽花の花が雨に映える季節となりました。

1学期が始まって4週間、新型コロナウイルス感染防止のための朝の健康チェックやマスク着用、こまめな手洗いが日常の「新しい学校生活習慣」として定着するとともに、学習や当番活動など、学校生活も徐々に軌道に乗ってきました。新しい友達と校庭で仲よく遊ぶ姿も見られるようになり、最初は緊張していた1年生も少しずつ学校生活に慣れてきたようです。教室からは元気な返事や明るい笑い声が聞こえてきます。

毎年のことですが、朝の集団登校で、班長さんをはじめ上級生が1年生を気遣いながら歩いてくる姿には感心させられます。下級生の子どもたちにとって、こうした優しいお兄さんやお姉さんに出会えたことは、とても幸せなことです。そして、今は下級生の子どもたちも、大きくなったら頼りになる上級生になってくれることと思います。上級生から下級生へと受け継がれていく玉諸小のよさを、これからも大切にしていきたいと思えます。

様々な対応により 待ちに待った給食開始

8日(月)から待ちに待った給食が始まり、教室からは久々に「いただきます」の声が聞こえてきました。1年生にとっては初めての、2年生以上の子どもたちにとっては、約3か月ぶりの給食です。子どもたちから、「おいしかった」「給食を楽しみにしていた」などの感想が聞かれました。

給食に関しても、新型コロナウイルスの感染リスクを減らすための様々な対応をしています。献立については短時間で配膳が終わるように、おかずを主菜だけにして品数を減らしています。副菜に使う予定だった食材は汁物や主菜に補い、パンを大きくすることで栄養価を確保しています。盛り付けについては、



関わる児童を極力減らし、低学年では教職員だけで盛り付けをしています。また、身じたく、手洗い、咳エチケットの徹底をはじめ、3密を避け、机は向かい合わせにせず前向き配置で間隔をとる、会話は控える、当面給食後の歯みがきはカテキン入りのお茶で口をすすぐことに代えるなど、感染リスクを減らすように努めています。

保護者の皆様には、毎日の検温などと併せて、給食用のハンカチとお茶を入れた水筒の準備をしていただき、ありがとうございます。

もし自分の
おじいちゃん
おばあちゃんに
うつしちゃったら……と
想像してみる。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

ぜひ 学級懇談会にご参加ください

来週26日(金)に4～6年生、翌週29日(月)は1～3年生の各クラスを会場に、今年度初めての学級懇談会を開きます。保護者の皆様と学級担任が直接、顔を合わせる貴重な機会となりますので、ぜひ、ご参加をお願いします。担任から学校での子どもたちの様子や、学校からのお願いについてお伝えしたり、保護者の皆様から家庭での子どもたちの様子やご質問、ご意見を伺ったりできればと考えています。また、授業参観に代えて、進級した学年で一回り成長した子どもたちが真剣に学習に取り組む姿を、短い時間ですがビデオでご覧いただく予定です。なお、学校では消毒や3密回避に努めていますので、風邪の症状があるなど、体調が優れない方は来校をお控えいただきますようお願いします。

学校だよりは、
玉諸小HPでもご
覧いただけます。



あいさつの輪を広げよう



人と人がコミュニケーションをとる上で最も大切なのが『あいさつ』です。目と目を合わせてあいさつをすることで、お互いの存在を認め合うことができます。特に今は、マスクをしていることが多いので、目を合わせることの大切さを再認識させられます。

朝の元気な「おはよう」「おはようございます」には、今日も一日、頑張ろうの励ましが、「ありがとう」には、相手への気遣いや感謝が、「さようなら」には、今日も一日楽しかったね、また明日など、それぞれの『あいさつ』に意味が込められています。

高学年の子どもたちには、あいさつのもつ意味を理解して、自分から進んであいさつができるようになってほしいと考えています。また一方で、低学年の子どもたちには、あいさつの気持ちよさを感じてほしいと考えます。

あいさつの大切さを子どもたちと確認し合い、あいさつあふれる玉諸小を目指して取り組んでいきたいと思えます。子どもたちは、学校・家庭・地域で育っていきます。学校でも家庭でも、そして地域でもあいさつの輪が広がっていくことを願っています。

正門前の横断歩道で



かけがえのない命を災害から守るために

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の児童引き渡し訓練は中止となりましたが、本校では、安全に避難できる実践的な態度や能力を養い、災害等が発生しても冷静にその場に応じた行動をとることができるよう、今年度も6回の避難訓練を計画しています。今回予定していた引き渡し訓練もそのうちのひとつでした。

9年余り前の東日本大震災では、子どもたちを含む多くの方々が犠牲となり、甚大な被害が発生しました。その後も、毎年のように大きな地震が全国各地で起こっています。ここ甲府市は、南海トラフ地震が起こると大きな影響を受けることが予想されています。



6月17日に実施したシェイクアウト訓練

災害は、いつどこで起こるか分かりません。大切な命を守るために、お子さんと危険な場所の確認をするとともに、登下校中や帰宅後に地震が発生した場合に具体的にどのように行動するのか、家以外に家族が集まる場合はどこに行くのかを決めておくなど、普段から備えておく必要があります。また、各ご家庭に先月配付した「いざという時のために」(家庭掲示用)についても改めて確認をお願いします。子どもたちのかけがえのない命を災害から守るため、ご理解、ご協力をよろしく申し上げます。

〒400-0814
山梨県甲府市上阿原町491番地
電話 055-233-2447
FAX 055-233-2451
E-mail: tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp